

平成 28 年度埼玉県オハイオ州スカラシップ
機械工学インターンシップコース 8 月レポート
「新たな出発点」

はじめに

はじめまして。平成 28 年度機械工学インターンシップコース奨学生の柏舘敬と申します。このプログラムに参加できたことをとても嬉しく思います。まず、このような機会を与えてくださった、埼玉県、フィンドレー大学、そして、Nissin Brake Ohio に感謝を申し上げます。この留学に応募した理由は、アメリカという英語圏でネイティブの英会話に日々触れることにより、実践的な英語力を養うとともに、Nissin Brake Ohio での機械実習を通して、エンジニアとしてのスキルを得ることができると考えたからです。私のレポートを通して、多くの人に、このプログラムや埼玉県の姉妹州であるオハイオ州に興味を持ってもらえると幸いです。

大学生活

渡米した最初の週は、手続きやイベント事が多く、広いキャンパス内をあちこち巡る日々が続きました。また、時差ぼけもあり、眠気との闘いの日々でもありました。授業が始まる 8 月下旬頃には、フィンドレーの穏やかな雰囲気を実感できる程には落ち着きました。

私が専攻する科目は ILEP という集中英語コースで、その中の Composition と Listening、Grammar の授業を受講しています。サウジアラビア人やメキシコ人など、様々な国籍の人が同じクラスに在籍しています。異なる国の人たちと同じクラスで勉強するのは新鮮で、とても面白いです。

日本人として気になったのは、こちらに来てスマホを手にポケモンを捕まえている人たちがいることです。ポケモンを見て育ってきた自分としてはとても嬉しく思う光景でした。



ボランティア活動



体育館でサバイバルゲーム？！

インターンシップ

授業が始まるのと同時期に NBO でのインターンシップも始まりました。最初は工場見学から始まり、実際に生産ラインに入っの作業や加工時に用いるツールの組み替えなどを行いました。

今回のインターンシップで自分たちが取り組む部門はマシンニングです。マシンニングは部品の加工を行う工程です。加工ツールの点検、加工後の部品検査を含め、部品の品質管理を徹底して行なっている印象を受けました。

